

平成 29 年 1 月 18 日

PT の修了証（ギルウェル・スカーフ、ウォッグル、ビーズ等）の
伝達方式の変更について

県コミッショナー 清水 裕

現在 PT（プログラムトレーニング）の修了証の授与（ウォッグル、ギルウェルスカーフ、ビーズ等の伝達）を、県連理事会の場で県コミッショナーが手渡す慣習となっています。

しかし毎年 20～30 名ほどの上級訓練終了者に対し、実際には出席の都合がつかないなど、逐次送りなどして数か月遅くなったり、理事会では伝達できずに地区コミに送って地区で伝達して頂いております。

そこで以下の通り現在のやり方を変更します（理事会承認済）。

《新しいやり方》

- ❖ 担当の地区コミッショナーが、修了者の所属団に出かけて行って、団委員会など団を中心とした身近な指導者の中で伝達します。
- ❖ もしくは地区ラウンドテーブルで、指導者の仲間たちの中で地区コミから伝達を受けることも良い方法だと思われます。
- ❖ 団委員会でも団会議、あるいはラウンドテーブルでも、要は指導者達の身近な仲間の中で伝達する方法に改めますが、伝達の方法※は地区コミッショナーに任せます。
- ❖ ただしこの改定の趣旨から、地区委員会で伝達することは避けるようお願いします。
- ❖ 伝達式は短時間で、できるだけ荘厳・厳粛な方法（制服、国旗、ローソクなどで厳粛な雰囲気を出すのも良い）で、印象に残るものを検討してください。

《理由》

- 1 所属団へ地区コミッショナーが出かけて行って手渡す方が、同じ団の他の指導者たちへの刺激になるし、仲間としての尊敬を集め、一緒になってその意義を考える意味があると考えられるためです。
- 2 またはラウンドテーブルで、身近な指導者仲間の中で手渡されることも同じ効果が望めるものと思われます。
- 3 地区コミッショナーの団訪問がなかなか進まない中、団との話ができるチャンスにもなり得るものと思われます。

《課題》

- ❖ このやり方の場合、ギルウェルスカーフやビーズの代金の回収は、県連事務局へ振り込んで頂くようお願いいたします。
- ❖ 伝達の都度、県指導者委員会から県理事会へ報告をお願いいたします。
- ❖ 伝達の方法※：日程調整、やり方、場所等は地区コミッショナーにお任せします。できるだけ早いタイミングで伝達を行うよう配慮ください。
- ❖ WB 実修所・団委員実修所（及びこれらと同等の訓練）も同様としますが、LTC・ALTCは従来通りとします。

以 上